

火の国阿蘇の ®みのブランド

zen Asocity

ここから、自分のほんとうにやりたかったことが大噴火する。 結果としてそれは、ひとりの女性の豊かさを生むことにもなった。 結婚し、いろいろあっての別離を二度経験した。 が、人生には谷も森もある。 少女漫画家としてデビュー後、イラストレーターとして活躍を始める。 さあ、そこから、あべまりあさんの波乱万丈人生の開幕です。 母は行かんでくれと泣いたが、父は遊学してこいと背中を押してくれた。 そのメッセージが、多くの人びとの心へ、ありのままに届いてゆきます。 ひとは自分の輝きに変えられる。 困難も悲痛も、苦労も切なさもすべて、 詞を書く、曲を作る、そして自分で歌います。 そして還暦を過ぎ、ふるさと阿蘇に帰ってきました。 「わたし東京へ行く!」 『あったかいね』の本を書く。

二十歳前、イラストレーターをこころざし、

生まれも育ちも阿蘇。大風景に抱かれて少女時代を過ごした。

イラストレーターあべまりあ

人と自然が共作する阿蘇。 あるがまま、という貴さ。